



撮影の設定を変える — 撮影メニュー

測光やホワイトバランスなど、撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

- 1** MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。
- 2** 変更する項目を選びます。
- 3** 設定の変更に移ります。



- 4** 設定を変更します。
































- 5** MENU/OK ボタンを押して、決定します。



- 6** DISP/BACK ボタンを押して、撮影画面に戻ります。



撮影メニュー一覧

メニュー項目	機能	設定	工場出荷時	参照ページ
 シーン選択	モードダイヤルが SP1/SP2 のときに、好きなシーンポジションを選んで、モードダイヤルに割り当てることができます。		SP1:  SP2: 	P.32
 Adv. モード	モードダイヤルが Adv. のときに、高度なテクニックが必要な写真を簡単に撮影できます。			P.30
 ISO 感度	光に対する感度を変更できます。	AUTO (1600)/AUTO (800)/ AUTO (400)/6400  /3200  / 1600/800/400/200/100	AUTO (800)	P.77
 画像サイズ	撮影する画像の大きさを変更できます。	L 4:3 / L 3:2 / L 16:9 / L 1:1 / M 4:3 / M 3:2 / M 16:9 / M 1:1 / S 4:3 / S 3:2 / S 16:9 / S 1:1	L 4:3	P.77
 画質モード	撮影する画像の画質を変更できます。	FINE/NORMAL	NORMAL	P.78
 FINEPIX カラー	色調を変更できます。			P.79
 ホワイトバランス	光源による色の違いを調整できます。	AUTO / 	AUTO	P.79
 ねらい撮りズーム	画面に撮影範囲の枠を表示することで、枠の外の状況を把握しながらねらった被写体を確実にとらえることができます。	OFF / 	OFF	P.47
 連写	動いている被写体などを連続して撮影できます。			P.28
 顔キレイナビ	人物を明るく目立つように撮影できます。	ON/OFF	OFF	P.39
 測光	カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。			P.81
 AF モード	ピントを合わせるエリアを変更できます。			P.81

明るさの測定方法を変更する (測光)

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。顔キレナビが **ON** のときは、測光は設定できません。

設定	説明
[M] マルチ	シーン自動認識により、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、[M] (マルチ) をおすすめします。
[S] スポット	画面中央部の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。スポット測光時には、測光したい被写体を画面中央に配置して撮影してください。
[A] アベレージ	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人、風景の撮影などに使用します。

ピントを合わせるエリアを変える

[AF] AF モード

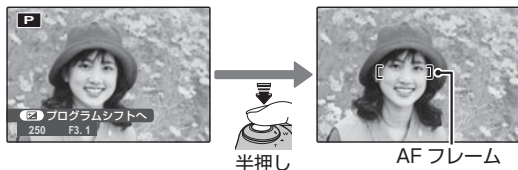
ピント合わせのエリアを変更できます。ただし、マクロ撮影時は、ピントは常に中央付近に固定されます。顔キレナビが **ON** のときは、AF モードは設定できません。

■ [C] センター固定

画面中央にある被写体にピントを合わせます。AF/AE ロック撮影 (→40ページ) と併用すると、より効果的です。

■ [+] オートエリア

シャッターボタンを半押しすると、画面中央付近にあるコントラストが高い被写体を自動認識して、その被写体にピントを合わせます。



■ [AF-ON] エリア選択

画面内でピントを合わせる位置を変更できます。三脚で固定して構図を決めてから、ピントを合わせる位置を変えるときなどに使用します。

▲、▼、◀、▶ でピントを合わせたい位置にターゲットポイントを移動します。位置が決まったら **MENU/OK** ボタンを押して決定します。



☛ チェック

- ピントを合わせたい位置に AF フレームが表示されない場合は、[中心固定] を選び、AF/AE ロック (→ 40 ページ) でピント合わせをしてください。
- [エリア選択] は、AF フレームの位置にかかわらず、露出合わせを常に画面中央付近で行います。画面中央にない被写体に露出を合わせるには、AF/AE ロック (→ 40 ページ) を使用してください。

■ [C] コンティニュース

動きのある被写体の撮影に適しています。AF フレーム内の動いている被写体にピントを合わせ続けます。

☛ チェック

[C] コンティニュースを設定しているときは、シャッターボタンを押さなくても常にピントを合わせ続けるため、電池の消耗が早くなります。電池残量にご注意下さい。

■ [AF-ON] 自動追尾

被写体の動きに合わせて枠が移動しピントを合わせ続けます。被写体に画面中央の枠を合わせ、◀ を押すと、自動追尾を開始します。

